

豊東小だより

令和3年10月29日 11月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

学びをつなげる 学びが広がる

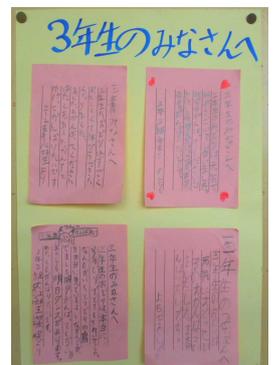
校長 梅津 靖子

急に冷え込むようになり、秋は足早に過ぎ去り、早々に冬を迎えるかのようです。緊急事態宣言が解除されて1か月。感染予防対策は継続しなくてはならないものの、クラブ活動や委員会活動の再開、他学年との交流も徐々に行うことができるようになってきました。10月は、ミニ運動会を予定どおりに実施することができたのも、児童らにとっては他学年との関わることの楽しさ、嬉しさというものを実感できることになったと思います。ミニ運動会の第一部では、全校児童が校庭に集まって、各学年が表現運動の練習の成果を披露するとともに、他の学年の表現運動を見ることができました。低学年は、これからの成長すべき姿を知り、高学年は、全校児童が一体となってミニ運動会を成功させるために、自分たちが担う役割をしっかりと確認することが



できたように思いました。左の写真は、ミニ運動会第二部の児童代表の言葉が終わって挨拶をしている場面です。話を聞く側の学年の児童も、丁寧に挨拶をしています。話す方も聞く方も、互いに相手を大事に思っていることが伝わってきます。また、ミニ運動会の第一部の終了後に、他学年の児童への手紙を書き、明日も共に頑

張りたいことを伝えている学年がありました。その関わりは第二部終了後にさらに広がり、多くの学年が関わって、感想を伝え合う手紙のやり取りが行われていました。直接に関わり合うことはまだ少ないけれど、先生方が、手紙を通して思いを伝え合うことができることを、学校行事という機会を捉えて指導されたことで、他学年ともよい関わりをもつことができました。なぜか嬉しくて心地よい気持ちをもつことができたことは、次の学びや活動につながっていくことでしょう。もちろん、学習の成果を存分に発揮できることも学校行事のすばらしさですが、その行事を通して学ぶことの一つ一つが、よい学びとなって子供たちの心を育むことになるのです。会の運営には、今年度もおやじの会の皆様や PTA の役員の皆様に協力していただきました。多くの方に支えられて頑張ることができたミニ運動会であったことを、児童と共に感謝申し上げます。



さて、ミニ運動会が終わってからの中休み。大きなごみ袋をもって集まるグループがありました。校庭の落ち葉を拾い集めています。落ち葉拾い係の活動だそうです。学級では、全員が毎日取り組む当番の仕事と、自主的に活動内容を考えて行動する係活動とがあるようです。大きな行事だけではなく、日常の生活の中で、学校生活がより良いものとなるために自分たちができることは何かを考え、率先して行動している児童がいるということに嬉しくなりました。学校行事での学びを、児童自らがつなげているのです。学びは確実に

広がっています。実に頼もしい姿です。代表委員会の挨拶当番も活気を取り戻しています。当番の日が待ち遠しいと話す児童もいます。11月の末には、豊二中学区の子童会(代表委員会)・生徒会のオンライン交流会があります。それぞれの学校での取組を伝え合うとともに、課題改善への取組について、中学生からアドバイスをもらうことを計画しています。これもまた、学びの広がりになりそうです。

11月は、大きな学校行事として展覧会を予定しています。作品づくりの時間もあとわずかとなりました。仕上げにも一段と力を入れて取り組んでいます。保護者の皆様におかれましては、感染予防に十分に気を付けていただくとともに、一つ一つの作品に込められた児童の思いを感じ取っていただきながらご鑑賞いただければと思います。